



星野再審ニュース 212号



星野さんから届いた年賀状

- 発行
星野さんをとり戻そう！全国再審連絡会議
- 発行日 毎月15日
- 購読料 1部100円(送料80円)
- 連絡先 〒105-0004
東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
TEL 03-3591-8224
FAX 03-3591-8226
- E-mail qq8u2cd9@dream.ocn.ne.jp
- URL <http://fhoshino.u.cnet-ta.ne.jp/>
- 賛同会員 1口年間3,000円
(ニュース無料配布)
- 郵便振替 00110-5-155521

星野文昭さんに連帯のお便りを

〒779-3133

徳島市入田町大久200-1 星野 文昭様



星野絵画展と学習会 (12月7日、横須賀)

1月号の紙面

2015年、100万署名で星野さん奪還！

- 絵画展・星野集会の連鎖的開催を … 2
- 徳島刑務所に緊急の申し入れ …… 3
- ビデオ国賠控訴審第1回裁判 …… 3
- 鈴木達夫弁護団長に聞く …… 4
- 西宮・宝塚絵画展 …… 6
- 横須賀絵画展 …… 6
- いわて絵画展 …… 7
- 大阪・港絵画展&暁子さん講演会 … 7
- 阿佐ヶ谷市民講座 …… 7
- インフォメーション …… 8

※今号は都合により、面会日記を休載します。

2015年、100万署名で星野さん奪還！ 全国で絵画展・星野集会の連鎖的開催を

2015年、いよいよ、星野文昭さんを獄中から取り戻す壮大な闘いの始まりです。

昨年、星野闘争は画期的な飛躍を勝ち取りました。絵画展・集会を通して「いわて」と「秋田」の新たな救援会がつくられました。「いわての会」は、宗派を問わず、北東北のキリスト教徒に星野さんのことを訴えています。その数、5000。運動の輪を広げる闘いが展開されています。反原発金曜



「ソリダリティ」を歌う (14年6・29全国集会)

行動の仲間と共に結成された「秋田の会」は、初めての街宣行動にチャレンジしました。

松江では、初めての絵画展に4000枚のピラを県庁、市役所、松江駅、大学、住宅団地、記者クラブなどにまいた上で、弁護士事務所、労組、教会には全証拠開示を求める署名とピラを持ち込みました。ある労働組合からは組合員全員の決起で870名の署名を集め、送って頂きました。

九州では、絵画展を通して牧師さんとの強力な関係が作られ、着実に大きな成果を上げています。

大阪では、労働組合が絵画展に取り組みました。組合の壁を越えて多くの労働者が駆けつけてくれました。そこで開催された星野集会では、「無実の星野さんに長期の獄中生活を強いる最大の狙いは、労働者の団結を破壊することにある。労働者の団結こそが星野さんを取り戻す力だ」「非正規化反対などの労働運動や、安倍政権打倒などの社会変革運動と一体のものとして、星野さん解放を勝ち取ろう」と訴えら

れています。

労働組合で、組合的団結の真価をかけた星野闘争への取り組みが始まりました。大阪の仲間はこのことで、「皆が自信を持ち、これまでの壁を越えてやる気になった。7・1閣議決定以降の、戦争に向かう攻撃の激化する時代に、星野さんを取り戻す新たな決意を奮い立たせるものになった」と語っています。

改憲・戦争攻撃を打ち破り 星野文昭さん解放へ

星野さんは「弾圧は、それに屈服する時にだけ力を持つが、不屈に闘う時には無力だ。それは星野闘争と共に動労千葉、動労水戸、鈴コン闘争が体現している。解雇攻撃も屈服した時に力を持つが、不屈に立ち上がった時には、労働者階級本来の力がよみがえり発展して勝利を勝ち取るのだ。それは労働者階級の自己解放闘争＝プロレタリア世界革命の勝利性ということだ」と訴えています。この労働者階級への根本的な信頼こそが星野さんの闘いの原点

であり、闘う労働組合を甦らせる闘いそのものです。

沖縄・フクシマの怒り、安倍政権の戦争・改憲攻撃への怒りが満ちています。労働者の40%を非正規にし、消費税増税や物価高、医療・介護・年金の解体、安全の崩壊など、生きていけない現実の進行は、新自由主義の破綻そのものです。労働者民衆は、「生きさせろ!」「戦争・改憲絶対阻止」と、新たな社会を求めて根底からの闘いを開始しました。

この中で、沖縄闘争を闘った星野さんに獄中40年を強制する国家権力への怒りも大きく広がっています。証拠を隠したまま、無実の星野さんをデッチあげている東京高検と東京高裁に対し、「全証拠を開示し、再審を開始せよ。星野さんを解放せよ」という闘いが、戦争を阻止する最先端攻防として激化しています。

星野さんの解放を求める絵画展と集会を、全国で次々と開催しよう。絵画展は原則的に闘う労働運動の復権と、100万人署名運動の本格的発展を必ず生み出します。さらに、地域の労働組合、市民団体、様々な団体と結合し、全国いたる所に救援会をつくらう。

その一切の力で、9月6日徳島刑務所デモをたたきとり、星野さんを取り戻そう。

徳島刑務所に緊急申し入れ 極寒の冬に、星野さんの健康を守れ

徳島というと南国のイメージがありますが、刑務所は山の中腹にあり、冬季には氷点下の日々が続きます。この冬の豪雪と寒さで、県内で死者まで出ています。

徳島刑務所は、昨年秋以降の度重なる申し入れにもかかわらず、居房に暖房を入れず、湯たんぽやカイロの使用も認めません。無実の星野文昭さんを40年も投獄した上、凍りつくような獄舎での生活を強制する徳島刑務所を絶対に許すことができません。全国の星野救援会、労働組合、運動団体は、星野さんの健康と生命を守るための申し入れを、徳島刑務所と視察委員会、法務省に送りました。

1. 生活の場である居房に緊急に暖房を入れること。
2. 受刑者全員に湯たんぽの使用を認めること。
3. ポケットカイロの購入と使用を認めること。
4. 「ヒートテック」等の防寒下着の購入と使用を認めること。
5. 受刑者全員の健康診断をただちに実施すること。

緊急の申入書を送った星野救援会は以下の通りです。全国再審連絡会議と再審弁護団、いわて、秋田、みやぎ、群馬、千葉、越谷、三多摩、杉並、ななぶ、神奈川県、京滋、大阪、兵庫絵画展、広島、岡山、九州、沖縄。

呼びかけに応じて、動労千葉、全国労組交流センターと、宮城、群馬、千葉、ななぶ、東京西部、神奈川、ユニオン自立、八尾北、岡山、愛媛、福岡の労組交流センターやユニオンから申入書を送りました。

さらに、婦人民主クラブ全国協議会、在本土沖縄労働者会議、全国水平同盟・杉並、とめよう戦争への道！百万人署名運動・千葉、NAZEN福岡も送りました（1月7日現在）。

これから、厳寒の季節を迎えます。全国の闘いで星野さんを守り、一日も早い再審無罪・釈放をかちとろう。

12月25日には、星野暁子さんから4人が徳島弁護士会に人権侵害救済を申し立て、県庁で記者会見を行いました。この申し立ては『徳島新聞』に報道されました。

ビデオ紛失国賠控訴審第1回裁判

星野さんの控訴理由書を読み上げ 証拠隠滅を弾劾

12月17日、東京高裁第9民事部（奥田正昭裁判長）において、星野文昭さんのビデオテープ紛失国家賠償請求裁判控訴審第1回裁判が行われました。

1審判決（9月9日、東京地裁民事第45部山田明裁判長）で星野文昭さんは、「紛失」された証拠のビデオテープを再審請求で利用する権利があるという、当然の、しかし画期的な勝利を勝ち取りました。これに対して、被告の国（裁判所）と東京都（警視庁公安部）が控訴して開かれた裁判です。星野さんも、国と都を更に弾劾し抜くために断固、附帯控訴しました。

「警視庁公安部と裁判所の責任を認めたい判決を否定し、控訴した国と都を決して許すことはできません」と激しく弾劾しました。

星野暁子さんを先頭に、共同代表、首都圏の各「救う会」の傍聴参加者は裁判終了後、高裁前で「証拠隠滅弾劾！」「全証拠開示・再審開始」を訴える街宣を行いました。

2015年星野文昭さん解放へ、ビデオ国賠の勝利判決をも武器に、全証拠開示100万人署名運動の本格的発展を猛然と切り開きましょう。

▼ビデオテープ紛失国賠裁判

星野文昭さんは1971年11・14沖縄返還協定批准阻止闘争をデモ隊のリーダーとして闘い、殺人罪をデッチ上げられた。第1審の裁判途中、東京地裁は本来裁判所で保管すべき証拠のビデオテープを違法に警視庁公安部に「保管委託」し、警視庁公安部はこれを「紛失」した。警視庁公安部はこのビデオテープに限って、証拠品管理の帳簿が存在しないとされた。星野さんは裁判所と警視庁公安部を弾劾して裁判を闘い、昨年9月9日に1審勝利判決を勝ち取った。

新春インタビュー

鈴木達夫弁護士団長に聞く

昨年末の衆院選挙に出馬された鈴木達夫弁護士団長に、本年星野文昭さん解放へ、「全証拠開示・再審開始100万人署名運動」の展望をお聞きしました。

衆院選挙（東京8区・杉並）に出馬された動機と、1万6981票の意味

アベノミクスと憲法改悪・戦争、この2つを焦点に安倍政治に対する不満、怒りは満ち満ちています。みんな政治に対しては強い関心がある。しかし、どの政党に投票しても何も変わらないという、議会制民主主義に対する根本的疑問が広まっている。



街頭演説する鈴木達夫弁護士団長（12月13日荻窪駅前）

この現実に対して真つ向から応えなければいけない。断固として怒りの先頭に立つ者がいない場合に、初めて絶

望と無関心が横行する。そんな無責任な所に自分を置くわけにはいかないということが、出馬決断の動機でした。

何で年末のこの忙しい時に選挙をやるのか、安倍自民党は、最初は消費税を先送りしたこと、アベノミクスの是非を問うと言いつつ出た。だが、そんなもの問うまでもない。喜んでるのはほんの一握りの資本家と株投機屋だけ。結局、自民党の選挙公報からアベノミクスのアの字も出てこなくなつた。そして、最後、彼らは「この道しかない」と押し出した。

はつきりしたのは、2年前安倍政権誕生の総選挙と同じく、小選挙区制のからくりと、極々低い投票率を見込んだ上で、安倍政権の失業・倒産・非正規化、憲法改悪・戦争政治に関して白紙委任を取り付けようとした。とんでもない悪戯だくみだった。

それを、全学連と青年労働者の元気がいっばいの街頭宣伝をはじめとする選挙活動によって徹底的に暴ききつた。最後のには、「労働者が主人公の社

会を」、「新しい労働者の政党を作ろう」と、要するに政治の仕組みを労働者人民の力で根本的に変えようと訴えた。その主張が届いた結果の1万7千票だったと思います。

星野文昭さん解放の闘いは、昨年大きな前進を勝ち取りました

選挙スローガンに、「無実の星野文昭さんを取り戻そう」ということを入れました。日本に40年間囚われている政治犯がいることを、どうしても訴えたい。たかつた。

そして、星野さんのことをみんなに知らせていく上で、お連れ合いの暁子さんの、生身を通したアピールの波及はすごかつた

また、沖縄の問題です。11月の沖縄県知事選と、今度の衆院選挙の結果は何を示しているのか。自民党は、福島と沖縄でぐらぐらになっているということ。です。

安倍政権は沖縄県民の総意を無視して、「辺野古への新基地建設を粛々と進める」と言っている。この現実には私たちに、沖縄分断支配を許さないという歴史的課題を改めて突きつけています。「核抜き、本土並み」というペテンの「沖縄返還」、それに対して沖縄では全島ゼネストをはじめ県民あげて

闘った。星野さんはこの沖縄の闘いと連帯して、本土で先頭で闘った。その星野さんを取り戻す闘いは、日本人民の歴史的課題だと思います。

再審闘争ではこの間、写真ネガの高精度データを勝ち取った。あるいはビデオ証拠紛失に対する国家賠償請求と面会拒否国賠。特にビデオ国賠では、星野さんの証拠に対する権利性を認めさせるという画期的な勝利を獲得した。

「沖縄闘争の政治犯」で、「無実」で、「40年」ということを広く広く知らせていく具体的な闘いとして、選挙戦も含めて着実な成果を積み上げて来ていると思えます。地を這うような前進ですけれども、じりじりと権力を追い詰めている。特にビデオ国賠の勝利は大きかつた。

写真ネガの問題は、再審開始を闘い取つていく足場を固めたと思えます。全証拠開示運動の中に位置づけて、新たな闘いの基礎にしていこう。

運動面では、11月の四谷区民ホールを満杯にした全国集会も、6月の、星野さん解放歌「ソリダリテイ」が発表された上野公園野外ステージでの全国集会も感動的でした。

「ソリダリテイ」は素晴らしい曲ですね。歌詞が素晴らしいというだけではなく、音楽そのものが時代を先取り

している感がします。それがいろいろな集会の度に歌われている。

また、絵画展はどこでも予想を超えて成功した。絵画展を通じて地域、また労働組合が動き出すなど、人々との大きな接点になり、運動を牽引している。

獄中40年、戦争反対を貫く星野さんの闘い

今の戦争情勢の中で、米軍の最大の基地の島・沖縄で、全人民が基地を拒否して決起している。沖縄は戦争を推進する勢力と、絶対反対の勢力とのぶつかり合いの最前線になっている。

今年の通常国会に、「現代の治安維持法」といわれる治安諸立法、盗聴の拡大・匿名証人・司法取引、それと集団的自衛権行使の関連法案が出てきます。こうした立法が軸になって、戦争に向かう体制がつけられて行く。

星野さんの再審裁判に現れているように、服の色が違えば別人だというのは当たり前なのに、「後姿」だとか「声」だとかにしがみついて、まだ無期懲役判決を維持しようとする司法の強権性、デタラメ性。それに対して星野さんが闘い続けているということが、治安諸立法、戦争体制を作る攻撃を打ち砕く闘いの一つの戦場になっている。

特にその点では、今年の通常国会での治安法攻撃＝戦争国家体制作りに対してわれわれが、星野さんの闘いをリンクさせて行くという意識性は非常に大事ではないか。

安倍の戦争政治に人民は不安と危機感をますます強めています。そのなかで星野さんの闘いを知ってもらえば必ず共感し、星野さんを取り戻そうという欲求と、星野さんのように闘おうという、闘いへの決起を促すことが出来ます。

2015年星野さん解放へ、全証拠開示・再審開始100万人署名運動の本格的な発展を勝ち取るために

まず、星野さんが獄中40年で非転向で闘っていることの凄さです。人間の最も尊厳ある在り方として立っている。それが人々の胸を打つ、そこが一つの軸だと思えます。

もう一つ。全証拠開示・再審開始100万人署名運動をどう拡大していくか。

星野さんを取り戻すための最短の強力な手段が全証拠開示運動です。検察官が証拠を独占し、それが許されているという日本の司法の異様さ、異常さ、許し難さに対して、理屈抜きでこのお

かしさを広げていく。

証拠を出さないとというのは再審制度そのものを認めていないということになる。「俺の裁判、どうしても納得できない、見直してくれ」というのは人民の神聖な権利です。それを検察が証拠を隠して出さないという事態。この理不尽にみんな怒る。証拠開示運動の原点はそこです。

「無実を明らかにすべき新たな証拠は検察庁の倉庫にある」。これはゴビンドさんの再審無罪を勝ち取った運動の中で発見された真理です。

戦後の刑事司法がどんなに冤罪を作ってきたのか。袴田さんだって死刑台に送り込まれかけた。本当にわれわれ自身が怒って、腹を据えて進むこと



12月13日、最後の街頭演説（荻窪駅前）

が、100万署名運動の本格的な発展を作っていく鍵だと思います。

まとめて言うと、安保国会、治安立法国会での闘いの中に、意識的にわれわれの運動を広げて行くこと、その場合、地域的な拠点を作って行くことが非常に大事です。

全国で、「取り戻す会」結成の凄いい発展が勝ち取られています。やはり東京、大阪中心に労働組合がこの問題に決起していく流れを作り出して行く。主客の情勢は、必死に闘えば今年それが全く可能なことを示しています。頑張りましょう。

CD『ソリダリテイ』 好評発売中！！

- 1 ソリダリテイー団結ー
作詞 星野暁子 作曲 丸尾めぐみ
- 2 とり戻そう 星野
作詞 十亀弘史 作曲 福山竜一
- 3 あの坂を登って
作詞 星野暁子 作曲 丸尾めぐみ
カラオケ ソリダリテイー団結ー
とり戻そう星野
あの坂を登って



1枚 1,000円
5枚以上 800円

注文は、星野さんを取り戻そう！
全国再審連絡会議までお願いします。

12月5日〜8日 西宮・宝塚絵画展

闘う仲間の総力で開催し、大成功

兵庫・新田 和生

「婦人民主クラブ」阪神読者会「たんぼの会」、関西合同労組阪神支部、兵庫労組交流センターの総力で、西宮市職員会館等3カ所で星野絵画展を4日間行いました。西宮・宝塚市役所など3000枚のピラを配布、100名を越す来場者と100万署名80筆が集まりました。兵庫の「労働者階級の方で星野文昭さんを奪還しよう」の新たな出発点になりました。



全国の星野救援会の関係者、自治体労働者や多くの市民の参加、会場の労働者の参加や協力、「京滋の会」「大阪の会」大阪市内からも応援に来てくれました。絵画展では「ソリダリテイ」

他の星野の歌が終日流され、茨城の目下部さん作成の缶バッチも好評のうちになくなりませんでした。絵を見た感想には「優し

12月6、7日 横須賀絵画展

無実で獄中40年！ 一様に驚きの声

神奈川・鈴木 文子

12月6、7日、「沖縄と横須賀をむすぶ星野文昭絵画展」を神奈川・取り戻す会が開催しました。130人の人たちに観ていただき、多くの署名が寄せられました。多くのの方にゆつくり見ていただきましたが、「こんなことが起こっているなんて知りませんでした」という声が一様にあがりました。はじめに星野さんの絵をみて、『愛と革命』の本を5人の方が求めてくれました。

6日の会場内で開催した「ワーカーズ・スクール」は3回目の星野闘争がテーマでした。中心的な講師だった富田益行さんを偲び、11月全国集会への星野文昭さんからの「外で会いまみえることを約束した、先頭で闘っていた国労の富田益行さんの急逝は無念ですが、勝利を共にするため共に闘いたい」との言葉を紹介し、70年安保・沖縄闘争を上回る激動期の到来の中で来年絶対に星野さんを奪還する決意を固める場になりました。

12月6、7日、「沖縄と横須賀をむすぶ星野文昭絵画展」を神奈川・取り戻す会が開催しました。130人の人たちに観ていただき、多くの署名が寄せられました。多くのの方にゆつくり見ていただきましたが、「こんなことが起こっているなんて知りませんでした」という声が一様にあがりました。はじめに星野さんの絵をみて、『愛と革命』の本を5人の方が求めてくれました。成功の原動力となったのは、三浦半島教組の組合員とOBの教育労働者たちです。彼らは、団結破壊をおし

横須賀は基地の街です。原子力空母「ジョージ・ワシントン」の母港ですが、2015年秋に「ロナルド・レーガン」に交代する予定です。その配備に危機感と怒りが高まっていますが、その怒りとも結びつきました。

面会のために徳島にいる暁子さんは「横須賀の皆様へ」と、手紙を寄せてくれました。2日目には、文昭さんと、暁子さんの思いを胸に、学習会を行い、三浦教組の仲間によるシンセサイザー、ギター、指揮によって、「ソリダリテイ」を歌いました。

絵画展が終わった後、関連企画で、神奈川の青年による「ミニ・ライブ」が開催されました。その中で、青年より11・29集会への文昭さんのメッセージと暁子さんの訴えが朗読され、「君と生きる」で始まる『ソリダリテイ』への共感が語られた後、熱烈なロック



調の演奏が披露されました。100万署名を力強く推進し、全証拠開示―再審へ突き進みましょう。

12月7日 いわて星野文昭絵画展

運動の輪を広げた絵画展

いわて・岡田 幸助

2014年12月7日に盛岡市のリリオギャラリーで星野文昭絵画展が開かれました。入場者は39名で、署名も13筆集まりました。アンケート記入も8通あり、いわて救済会に2名の方が入会していただきました。40代の男性は「とても落ち着いた心境の中で描いてこられたのだとしみじみ思いました」。

40代の女性からは「今回は写真の展示もありわかりやすかった。すてきな絵画にいやされました。平和へのメッセージですね。獄中の寒さはいかばかりでしょう？ お体を大切に、寒さをのりこえましょう。」

70代以上の男性は「心にしみる絵と詩、やさしい暖かい色彩に星野さんの性格が表れているのかと思います。このような人をいつまでも獄中においておくことは罪悪であると思えます。できるだけ多くの人にこの事実を知ってもらおうことが必要です。そのため報道関係への働きかけができないかと思えます。」と書かれています。

私たちは、「大阪・星野さんを取り戻す会」と共に地域の闘う労働組合と実行委員会をつくり、11月12日から13日に港区民センターで絵画展、15日には田中機械大ホールにて、「絵画展&暁子さん講演会」を開催しました。

11月12、13、15日 絵画展&暁子さん講演会

労働組合の団結を作り出した

大阪・港絵画展実行委員会

本質について一般市民は知らない、なぜこうなっているか問題点をよく勉強しましょうと意見が出されました。今回は1日だけの開催となりましたが、秋田や宮城からも応援に駆けつけてくださり、さらに運動の輪を広げることができました。

もっている共同性＝団結を取り戻す闘いでもあるからです。星野闘争を労働組合の団結の課題にして闘うことが、新たな挑戦の始まりとして、求められています。

12月18日、阿佐ヶ谷市民講座において「詩と朗読で綴る無実の政治犯・星野文昭―獄中40年の軌跡」が開かれ、50人が集まりました。

今日、絵画展をやることの決定的意義は、安倍と橋下市長を打倒し、総選挙情勢にたたき込んだ激動の中で、獄中40年、不屈に闘い抜く星野文昭さんをついに取り戻す時が来た!!からです。

また、闘う労働組合には資本や国家権力によるあらゆる不正義をたたく力があり、星野闘争に貫かれる労働者階級が本来

15日の集会は「ソリダリティ」の合唱で始まり、実行委員会から「労働組合の団結の力で必ず星野文昭さんを奪還すること、星野闘争の闘いの中に青年をはじめ、すべての労働者の未来もある」と基調報告が行われました。



また、闘う労働組合には資本や国家権力によるあらゆる不正義をたたく力があり、星野闘争に貫かれる労働者階級が本来



また、闘う労働組合には資本や国家権力によるあらゆる不正義をたたく力があり、星野闘争に貫かれる労働者階級が本来

また、闘う労働組合には資本や国家権力によるあらゆる不正義をたたく力があり、星野闘争に貫かれる労働者階級が本来

また、闘う労働組合には資本や国家権力によるあらゆる不正義をたたく力があり、星野闘争に貫かれる労働者階級が本来

詩と朗読に感動

阿佐ヶ谷市民講座

12月18日、阿佐ヶ谷市民講座において「詩と朗読で綴る無実の政治犯・星野文昭―獄中40年の軌跡」が開かれ、50人が集まりました。

ビデオ『星野文昭獄中36年』の上映の後、星野暁子さんが、文昭さんとの出会いから結婚、そして28年間の二人の闘いを語り、再審無罪・釈放を訴えました。後半では、田沼雄一さんのギター伴奏で暁子さんが詩を朗読し、フリーアナウンサー・朗読家の長谷川勝彦さんが第2次再審請求にあたっての陳述書を朗読しました。長谷川さんの朗読は、まるで星野さんがそこにいるかのように参加者の胸に届き、会場は深い感動に包まれました。2015年、あらゆる場に打って出て、100万人署名を実現しましょう。

星野文昭さんの歩みと裁判・再審

- 1946. 4. 27 札幌市に生まれる
- 1962. 4 道立月寒高校入学、翌年、生徒会長をつとめる
- 1966. 4 高崎経済大学入学、不正入試阻止闘争に参加
(記録映画「圧殺の森」に登場)
- 1969 同大学再建自治会執行委員会副委員長就任
- 1971 春 成田国際空港反対闘争支援のため千葉県三里塚
に常駐 7月、9月の闘争で指名手配を受ける
- 1971. 11. 14 沖縄返還協定批准阻止闘争(渋谷闘争)に参加
1名の機動隊員がデモ隊との衝突で火傷死(渋谷事件)
- 1972. 2. 21 渋谷事件で殺人罪指名手配を受ける
- 1975. 8. 6 不当逮捕
- 1979. 2. 13 死刑求刑、死刑阻止12万筆署名集まる
- 8. 21 一審判決、懲役20年
- 12. 2 「星野・奥深山・荒川三君を救う会」結成
- 1983. 7. 13 二審判決・無期懲役
- 1986. 9. 17 暁さんと獄中結婚
- 1987. 7. 17 最高裁上告棄却・無期懲役確定
- 10. 30 徳島刑務所移監
- 1988. 杉並と徳島で「救う会」発足
(以降、全国で27の救援会が結成されている)
- 1990. 11. 27 父、三郎さん逝去
- 1991. 5. 15 再審弁護団結成
- 1996. 1. 28 「星野さんをとり戻そう!全国再審連絡会議」発足
- 4. 17 再審請求書提出
- 8 「ゴキブリを踏んだ足を洗った」として20日間の懲罰
- 2000. 2. 22 再審請求棄却決定
- 2. 24 異議申立
- 2004. 1. 19 異議申立棄却
- 1. 23 最高裁に特別抗告
- 2006. 6. 友人面会実現(以降、94人が面会)
- 2007. 6. 8 母、美智恵さん逝去
- 2008. 7. 14 最高裁、特別抗告棄却決定
- 2009. 11. 27 第2次再審請求書提出
- 2010. 3. 24 東京高裁に対して証拠開示請求
- 3~4 星野さんに2度の懲罰(1週間の閉居罰と戒告)
- 2011. 4. 4 ビデオ国賠訴訟提訴
- 11. 14 面会・手紙国賠訴訟提訴
- 2012. 2. 5 徳島刑務所包囲デモを600名で闘う
- 3. 30 東京高裁第11刑事部(若原正樹裁判長)が再審棄却決定
- 4. 3 東京高裁に異議申立
- 5 全証拠開示大運動開始
- 9. 28 異議審補充書提出・東京高裁包囲デモ
- 12. 4 証拠開示請求書提出
- 2013. 5. 17 証拠開示を求める弁護団意見書提出
- 9. 8 9・8徳島刑務所デモ
- 12. 1 12・1全国集会・都心デモ
- 2014. 6. 29 星野全国集会を670名で勝ち取る
- 7. 18 面会・手紙国賠判決
- 9. 9 ビデオ国賠勝利判決
- 11. 29 11.29全国集会に470名が結集

全証拠開示・第2次再審署名 58,698 筆(12月30日現在)

インフォメーション

■ 「現代の治安維持法と闘う会」結成集会

日時 1月22日(木)午後6時開始
場所 弁護士会館2F講堂「クレオ」
講演 荻野富士夫(小樽商科大学教授)
呼びかけ人 荻野富士夫 内田剛弘 五野井郁夫
長谷川英憲 森川文人 山本志都

■ 東京なんぶ・中部(星野準備会)星野絵画展

日時 1月23日(木)12時~20時
1月24日(金)11時~18時
場所 千代田区九段生涯学習館2F ギャラリー
(東京メトロ線「九段下」駅下車6番出口前)
主催 東京・なんぶ星野文昭さんを救う会
百万人署名運動千代田・中央懇談会
※前号でお知らせした日程が1日順延となりました。

■ 2・15労働者集会(東京)

国鉄分割・民営化で不当解雇から28年
日時 2月15日(日)開場 午後5時半 開始 午後6時
場所 すみだ産業会館9階サンライズホール
呼びかけ 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争
を支援する全国運動

■ 広島上下町絵画展

日時 2月22日(金)~3月23日(月)
場所 広島県府中市上下町
主催 広島星野文昭さんを救う会

国賠裁判

■ 面会・手紙国賠控訴審第2回裁判

日時 2月9日(月)14時
場所 東京高裁809号法廷

■ ビデオ国賠控訴審第2回裁判

日時 3月9日(月)11時30分
場所 東京高裁809号法廷

- 財政報告 2014/12 単位円
- (1) 収入 482,177
 - ①賛同金 21,000 ②基金 1,000 ③カンパ 411,895
 - ④頒布物売り上げ 47,639 ⑤繰越金 643
- (2) 支出 481,853
 - ①獄中支援、処遇関係費 44,460
 - ②救援運動経費 437,393
 - 通信費 53,635 発送費 126,489 運営費 94,730
 - 消耗品費 74,464 頒布物制作費 87,108 コピー 967
- (3) 繰越金 324
- 第3期再審カンパ会計 2014/12
 - (1) 12月カンパ 217,135 (累計 549,435)
 - (2) 12月支出 208,367
 - (3) 前月繰越金 10,012
 - (4) 翌月繰越金 18,780

第4期再審250万円カンパのお願い

安倍政権の戦争攻撃激化の下、獄中40年、非転向で反戦を貫く星野さんの闘いが、ついに巨万の怒りと結び付く2015年を迎えました。

第4期再審カンパは先月、多くの方から寄せて頂き、累計約55万円となりました。ありがとうございました。おかげさまで、ビデオ国賠附带控訴費用、写真鑑定費用の一部等、お支払いが出来ました。

更に日常的な弁護団活動、星野さんへの接見の上で、証拠開示、新証拠発掘の闘いを進めるために、250万円カンパの達成を心から訴えます。

カンパ送金先

郵便振替口座 00110-5-155521
〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階
星野さんをとり戻そう!全国再審連絡会議
TEL 03-3591-8224 FAX 03-3591-8226